

公開学術シンポジウム

# 帝国日本の

# スポーツと明治神宮

—幻の東京オリンピック前後—

平成29年

10月21日(土)

13時30分—17時30分

会場：明治神宮社務所講堂【定員80名/参加費無料】

主催：明治神宮国際神道文化研究所

共催：明治神宮史研究会

日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤研究(C))「国家神道と国体論に関する学際的研究—宗教とナショナリズムをめぐる「知」の再検討—」(研究代表者：藤田大誠 研究課題番号：15K02060)

13:30 趣旨説明 藤田大誠 (國學院大學人間開発学部教授)

13:35 発表1 「明治神宮外苑拡張構想と幻の東京五輪」  
藤田大誠 (國學院大學人間開発学部教授)

発表2 「近代日本の集団体操と明治神宮」  
佐々木浩雄 (龍谷大学文学部准教授)

発表3 「朝鮮神宮競技大会と植民地空間」  
金誠 (札幌大学地域共創学群人間社会学域教授)

発表4 「満洲のスポーツと明治神宮大会」  
高嶋航 (京都大学大学院文学研究科准教授)

15:45 コメント 坂上康博 (一橋大学大学院社会学研究科教授)

和田浩一 (フェリス学院大学国際交流学部教授)

16:15 総合討議

公開学術シンポジウム

# 帝国日本の

# スポーツと明治神宮

—幻の東京オリンピック前後—

現在、3年後に開幕予定の「第32回オリンピック競技大会(2020/東京)」「Games of the XXXII Olympiad」及び「東京2020パラリンピック競技大会」(Tokyo 2020 Paralympic Games)に向けて着々と準備が進められている。とりわけ次回の五輪は、高度経済成長期真っ只中の昭和39年(1964)に開催された第18回大会以来、今や「成熟都市」とも評されるようになった東京における戦後2回目の五輪として、国内のみならず海外からも、多くの関心を集めている。しかし、その「前史」に当たり、昭和15年(1940)に第12回大会として開催されるはずであった「幻の東京オリンピック」(「紀元二千六百年記念」の一環として招致され、昭和11年に決定していたが、同13年に返上したため、開催地はヘルシンキに変更したものの、結局不開催)のことは、一般にはあまり知られていない。

ただ近年、「幻の東京オリンピック」の顛末を含む戦前・戦時下の日本や東アジアにおける体育・スポーツに関する歴史的研究が飛躍的に進展しており、従来は「暗黒時代」としか捉えられていなかった当該時期のスポーツと社会、都市空間などとの関係について、単純な「弾圧」史観では割り切れない興味深い史実が次々と明らかにされている。

また、今回オリンピックスタジアムとなる「新国立競技場」という空間のルーツを辿ると、前回の東京大会でもメイン会場とされた「国立霞ヶ丘競技場」、さらには大正13年(1924)竣工の「明治神宮外苑競技場」に遡ることが出来る。つまり、この日本を代表する体育・スポーツ空間創出の原点には明治神宮造営という当時の国家的・国民的プロジェクトの存在がある。さらに外苑競技場竣工とともに開始され、戦後の「国民体育大会」の前提となった国民的・総合的・全国的なスポーツ大会である「明治神宮競技(体育・国民体育・国民錬成)大会」(明治神宮大会)が、神前奉納行事やオリンピックの国内版として構想されたことも、日本体育・スポーツ史上、注目すべき事柄である。

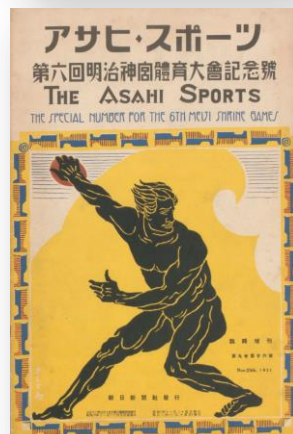
そこで本シンポジウムでは、「幻の東京オリンピック」前後の大正後期から昭和戦前期に焦点を当て、明治神宮外苑の体育・スポーツ空間と明治神宮大会の展開を軸としつつ、東アジア全体を視野に入れた〈帝国日本〉の体育・スポーツについて議論を行いたい。



1



2



3



4

1. アサヒスポーツ明治神宮競技記念号(大正13年)
2. 同第2回明治神宮競技記念号(大正14年)
3. 同第6回明治神宮体育大会記念号(昭和6年)
4. 同第11回明治神宮国民体育大会画報(昭和15年)
- 表. 明治神宮外苑絵葉書(外苑管理署発行)
- 左. 明治神宮競技大会記念絵葉書(内務省発行、大正13年)

## 会場

### 明治神宮社務所講堂

JR「原宿駅」・地下鉄「明治神宮前駅」より徒歩10分  
JR/地下鉄「代々木駅」・地下鉄「北参道駅」より徒歩15分

## 参加ご希望の方は

催事名・住所・氏名・連絡先を明記の上、下記事務局までお申込みください。

尚、研究会終了後、希望者による会費形式の懇親会を予定しております。

参加申込み時に出欠も併せてお知らせください。



## 明治神宮国際神道文化研究所

〒151-8557

東京都渋谷区代々木神園町1-1

TEL: 03-3379-9338 / FAX: 03-3379-9374

E-mail: center\_mj@so.meijijingu.or.jp